

# 分野1

## 一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち【産業と仕事】

模範的  
ファン  
BtoC  
Uターン

チャレンジできる  
担い手の創出

農業の振興

織物業の振興

商工業の振興

情報発信・流通ネットワーク  
の強化を通じた  
ビジネス環境の整備

魅力ある  
働く場の創出

- ・ 何でもチャレンジする人を応援する仕組みづくり
- ・ 事業者間の連携、世代や地域を超えた人との交流から生まれる人材育成
- ・ 知恵・技・経験を次世代へ伝えるための人材育成
- ・ 事業者、商工会、金融機関、行政が連携し、与謝野ブランドの構築を推進するための体制づくり
- ・ 地域資源を活かして新たな価値を創出する人材の育成

- ・ 新規就農者への支援
- ・ 地域資源を活かした商品・サービスのブランド化の推進（農商工連携・6次産業化など）
- ・ 安心・安全な自然循環農業の推進
- ・ 新しい農業モデルの創出

- ・ 消費者ニーズに応える織物業や織物技術の革新
- ・ 織物業における農商工連携・6次産業化の推進
- ・ 高度な織物技術の継承・着物を含む和文化の普及促進

- ・ 事業者の技術力・経営力の向上のための環境整備
- ・ 起業や業態転換、新事業・新分野への進出の支援

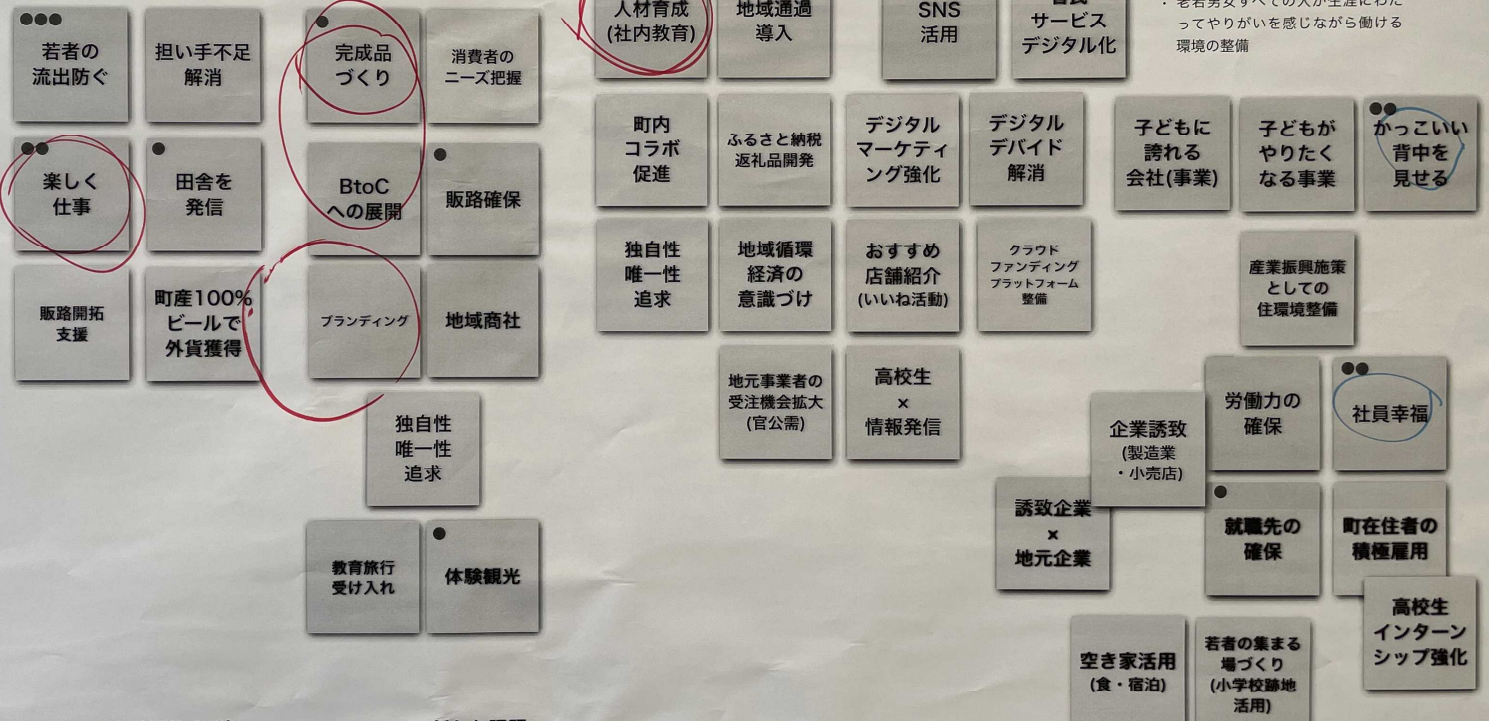
- ・ 地域資源の魅力のみえる化
- ・ 地域資源への自信と誇りの醸成
- ・ 流通ネットワークの強化・情報発信力の強化

- ・ ICTや人工知能を効果的に利用した生産性向上と働き方改革の促進
- ・ 空き家・空き工場などを活用した新たな仕事の創出
- ・ 地域資源を活かし、町内に所得を分配できる企業の誘致
- ・ 老若男女すべての人が生涯にわたってやりがいを感じながら働ける環境の整備

Uターン  
できる  
支援

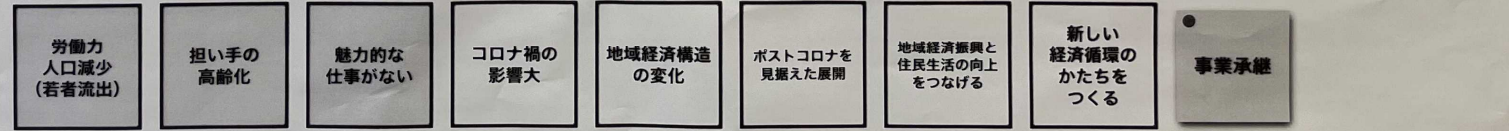
大学卒業  
のUターン  
促進施策

Uターンの  
受け皿



課題（前期基本計画策定時）

新たな課題



## 分野2

# 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち【交流と発信】

### 魅力の認識及び「よさの者」づくり

- ・ まちの魅力を発見及び再認識する機会の創出
- ・ 家庭、地域、学校が連携したふるさと教育の充実
- ・ 地域資源の掘起し
- ・ 住民や「よさの者」による情報共有の仕組みづくり
- ・ SNSや動画などを活用したまちの魅力情報の発信
- ・ ITを活用したまちの製品の認知・販売の仕組みづくり
- ・ ふるさと納税制度を活用した「よさの者」づくり

### 魅力を体験・体感できるコンテンツの開発

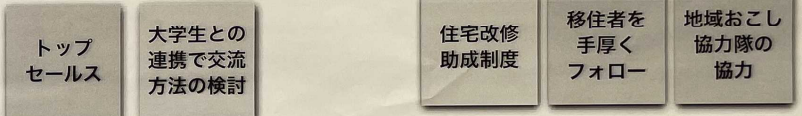
- ・ 観光ガイド及びネイチャーガイドなどの育成
- ・ 地域の祭りや地場産業を活かした体験観光の推進
- ・ 自然や歴史・文化などを活かしたグリーンツーリズムの推進
- ・ 郷土食や特産品づくりの推進
- ・ 空き家などを活用した民泊や交流拠点などの施設の充実
- ・ 公共交通の活用及びスローモビリティなどによる町内周遊モデルの確立
- ・ 滞在観光及び交流の拠点となる観光関連施設（公共施設含む）の充実

### 交流人口増加体制の強化

- ・ 海の京都DMOと近隣市町との連携強化による広域観光の推進
- ・ 与謝野町観光協会を中心としたおもてなしの充実
- ・ イベントなどの交流機会の創出
- ・ 国際交流やインバウンド対応できる受け入れ体制の強化

### まちの魅力・人の魅力が生み出す 与謝野町ならではの「移住・定住」の促進

- ・ 移住検討者・移住希望者・移住者のサポート体制の強化
- ・ 移住を目的としたお試し住宅の普及促進
- ・ 地場産業などと連携したイン・レジデンスの充実



●●●●● まちに残りたいと思える理由ある

●●●●● 小中学生向け職場体験の充実

●●●●● 子ども向け教育の充実

●●●●● 観光の目玉づくり拠点づくり

●●●●● 小学校跡地活用

●●●●● 歴史的な場所の名所化

●●●●● アウトドア拠点の充実・拡充

●●●●● 山活用 (アウトドアアクティビティ)

●●●●● キャンプ場へのルート整備

●●●●● 人の集まる場所をつくり小さな活動を続ける

●●●●● 空き家活用 (食・宿泊)

●●●●● 町内コラボ促進

●●●●● 若者の集まる場づくり (小学校跡地活用)

●●●●● 観光客の満足度向上

●●●●● 独自性唯一性追求

町出身者や関係人口による広報強化

町外から新たなよさの者の受け入れ

情報発信強化

与謝野町のファンづくり

ふるさと納税返礼品開発

新店舗新商品をまちぐるみで応援

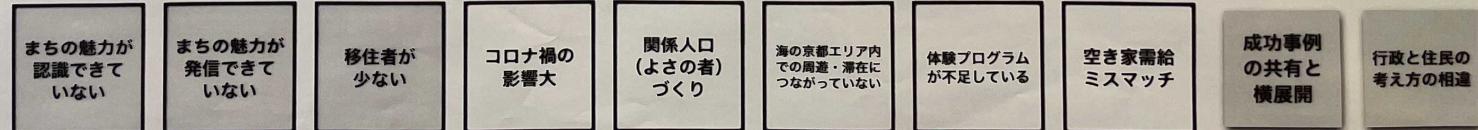
おすすめ店舗紹介(いいね活動)

高校生×魅力発信

まちの魅力発信イベントの開催

課題 (前期基本計画策定時)

新たな課題



地域ブランド  
視認

「よさの者」  
/ ひとづくり

若い世代は  
ネットの活用は  
多い

住みたい  
家の整備

小学校跡地  
カフェ施設等

山笠源の  
利用  
ex. モータースポーツ

若者の集まる  
場づくり

まちの魅力が  
認識できて  
いない

まちの魅力が  
発信できて  
いない

移住者が  
少ない

コロナ禍の  
影響大

関係人口  
(よさの者)  
づくり

海の京都エリア内  
での周遊・滞在に  
つなげていない

体験プログラム  
が不足している

空き家需給  
ミスマッチ

成功事例  
の共有と  
横展開

行政と住民の  
考え方の相違

# 分野3      みんなが自分らしく幸せに生きるまち【健康と福祉】

## 健康・福祉を支える人財の育成と確保

- 資格取得に対する補助制度の構築や、必要な研修機会の充実
- 地域医療体制の維持
- ちよこボラ精神の醸成
- 農福連携などによる雇用づくり
- 医療福祉現場の離職の予防と復職の促進
- 町内外、国籍を問わない人財の確保
- 介護ロボットなどの先進技術の導入    ・ゲートキーパーなどの相談員の養成

## 「元気な心と体づくり」の推進

- 健康づくりや生きがいづくりの意識啓発と情報提供
- 保健や医療、福祉、教育が連携した健康指導や相談体制の充実
- 特定検診やがん検診の受診率向上への取り組みの推進
- 心と体の健康づくりに関する学習機会や運動機会の充実
- 「健康貯金」を目的としたコミュニティづくりの推進
- 気軽に運動できる場の維持、整備
- 地元食材、家庭の味を大切に食育の推進

## 心のよりどころの充実

- 世代間・同世代における交流の推進
- サロンなど地域における居場所づくりの推進
- 見守りの強化や相談機会の充実
- 認知症患者や要介護者、障害などの支援が必要な方及びその家族への支援体制の充実
- 災害時の地域での支援体制の充実

## 誰もが自分らしくと生きがいをもって共生できるまちの推進

- 元気な高齢者の生きがいづくりの推進
- 支援を必要とする人の生活基盤の改善及び教育
- 就労・社会活動の機会の充実    ・障害への理解向上及び多様性を認め合える心の育成

● 資格取得のPR・補助制度構築

● 福祉教育の充実

●●●●● 福祉現場で働く人の給与アップ

● 外国人労働者の受け入れ

● 民間との連携

● 福祉総合窓口の設置

● 公民館事業 × 健康増進事業

● 老人クラブ健康推進事業への支援

● よりどころの拡散

●● ひきこもり者宅への訪問

●●● 高齢者へのインターネット利用促進

●● 敬老会のあり方検討(出席率向上)

●● 事業者への障害者雇用のはたらきかけ

●●● 生活困窮者支援

●●● 父子家庭への福祉の充実

●●● 助けてが言える環境づくり

● 個人の能力を活かした活動を支援

● 自立する

● やりたいことをやる

介護報酬のアップ(国)  
介護サービスの不足

● 楽しむ人とつながる

一人では楽しくない!

いっしょに運動  
連動が要る

現有的施設の有効利用  
インストラクター募集  
健康づくりと交流  
フアハウス  
ちよこボラ

ヤレバヤレ

### 課題（前期基本計画策定時）

保健・医療・福祉サービスの担い手不足

健康に対する意識が低い

健康づくりへの参加が少ない

支援や心のよりどころが必要な人への支援体制が不十分

コロナ禍の影響大

職場定着につながる制度構築

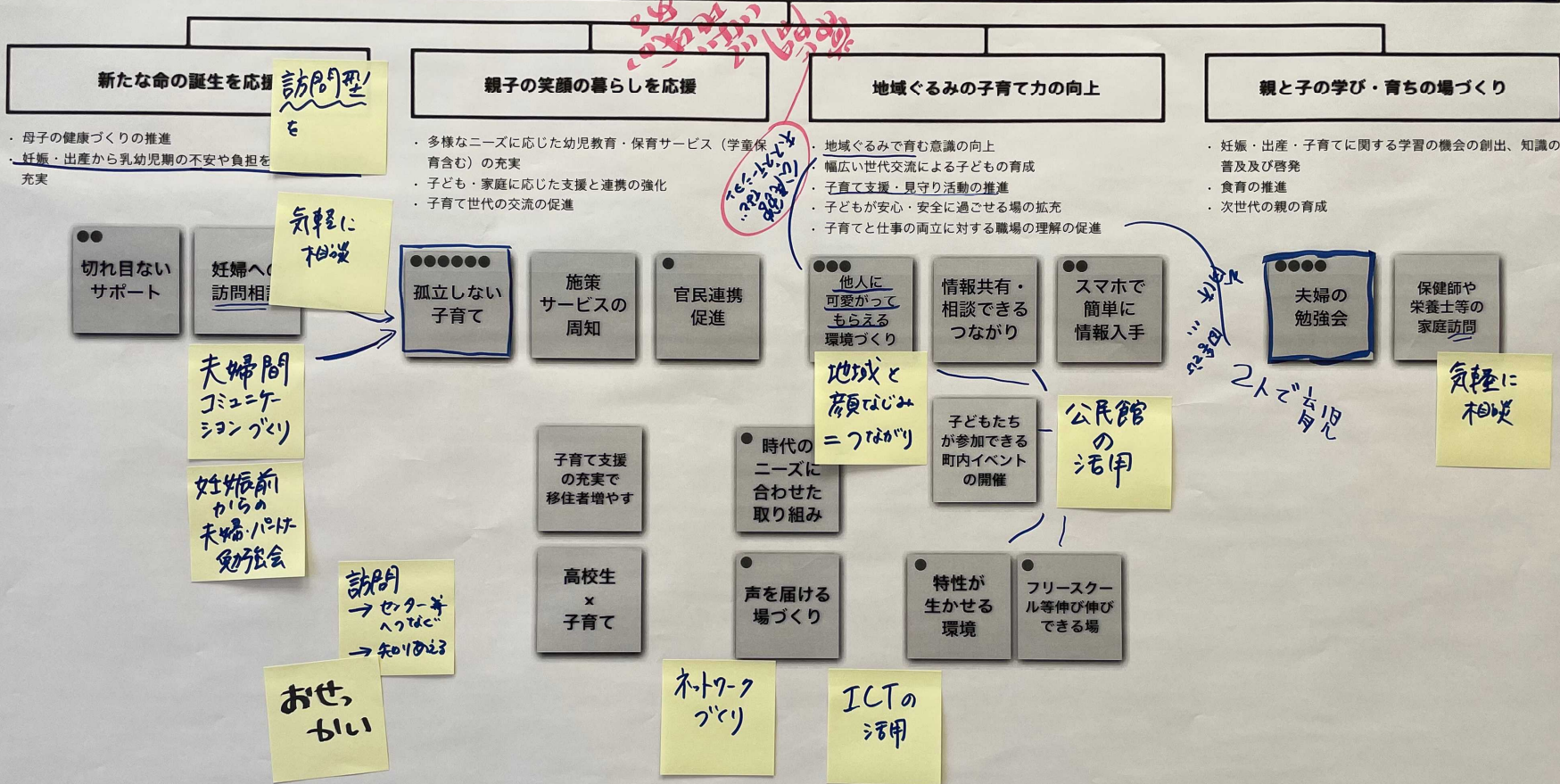
支援の必要な人に情報が届いていない

企業と障害者・支援者がつながる機会が少ない

### 新たな課題

分野4

つながりで笑顔を未来につむぐまち【出産と子育て】



課題（前期基本計画策定時）

未婚・晩婚・離婚増加傾向

子育て家庭と地域のつながりの希薄化

孤立する子育て家庭増加

働き方に応じた子育て環境を求め声への対応

父親の育児休業取得率低い

野田川地域の認定こども園整備

子育て支援センター利用者減

学童保育の指導員確保

子育ての新たな担い手確保

情報が少ない

新たな課題

●● 民間が関われる場が必要

●●●● 保育・教育現場が大変

# 分野5

## 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち【教育と文化】

### 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成

個もいろいろ  
目つけ合う  
ことも

与謝野町に誇りを持てる子どもたちの育成  
 学びの基礎を育てる就学前教育の充実  
 質の高い教育による学力の充実・向上  
 ICT教育・グローバル教育の推進  
 地域と学校による連携・協働組織の構築

子どもに  
興味あるもの  
を伝える

リターンで  
奨学金無料

↑  
いいも  
親でも  
がんばって

### 一人ひとりを大切にする環境の整備

・心身ともに健やかな子どもの育成  
 ・学校の適正配置の推進  
 ・安心安全な学習環境の整備・充実  
 ・適切な就学指導と教育支援の推進

施策  
サービスの  
周知

在宅授業  
(コロナ対応)

●●●●●  
親育て

### 生涯学習社会の実現と人権教育の推進

・様々な要請に応じた社会教育の推進  
 ・社会教育施設の適正管理・適正配置の推進  
 ・公民館活動やふるさと教育の推進  
 ・多彩な文化活動・自主活動の推進  
 ・青少年育成活動の推進  
 ・地域ぐるみで子どもや家庭を支える連携・協働体制の構築  
 ・図書館の充実  
 ・人権教育の推進  
 ・高校・大学との連携・協働の推進

●● 公民館の  
さらなる  
活用

● 親子で  
参加できる  
公民館活動

●● 樹木や  
地蔵の活用

地蔵も  
樹木も  
の活用  
は  
→ 公民館活用

### 生涯スポーツ社会の実現

・社会体育施設の適正管理・適正配置の推進  
 ・生涯スポーツの質的充実  
 ・特色ある体力・健康増進活動の推進

● 各地区での  
スポーツ  
教室実施

● 学校教育と  
連携した  
部活動指導  
体制の拡充

● スポーツ  
ビジネス  
(合宿誘致)

盆  
野  
球

登山  
マラソン  
豚汁が...

### 文化財の継承と発展

・文化的景観・史跡など文化財の価値の啓発  
 ・文化財の保護・保存と活用の推進  
 ・歴史文化基本構想の策定と推進

●●●●●  
まちの  
歴史・文化を  
子どもたちに  
伝える

●● 祭り・地蔵盆  
の継続

●●● 祭りの魅力で  
人が残る

●●● 古墳の  
発信

祭りは  
人と育つ  
子どもまで。

課題 (前期基本計画策定時)

新たな課題

教育に対する  
社会的要請  
への対応

若年層の  
流出

与謝野町  
ならではの  
教育の構築

コロナ禍の  
影響大

問題事象・  
不登校  
出現率増加

子どもの  
貧困化

支援を  
必要とする  
児童生徒増加

生涯学習・  
生涯スポーツの  
拠点施設の  
今後のあり方

文化財の  
継承者減少

祭りの  
担い手不足

進学で  
選択肢が  
限られている

真似  
するのは  
いい  
学習指導  
要領が基本

事業の  
担い手が  
育たない

子供の  
孤立化

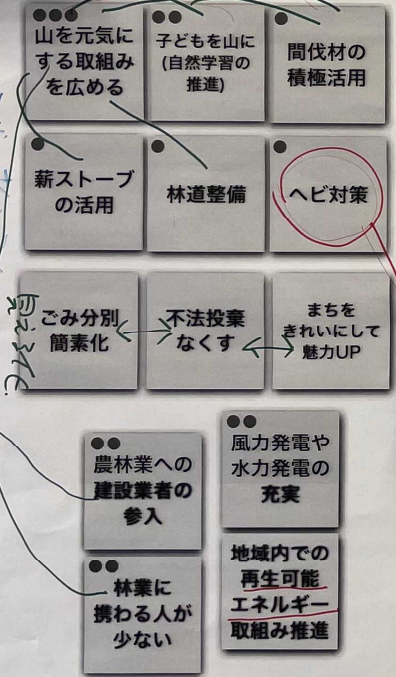
# 分野6 美しくて住みやすい安心安全なまち【自然環境と生活環境】

## 自然環境保全と循環型社会の構築

- ・ 地球温暖化対策の推進
- ・ 自然保護活動の推進
- ・ 不法投棄防止対策の促進
- ・ ごみ処理体制の充実
- ・ 廃棄物のさらなる減量化と再利用、再資源化（リサイクル）の推進
- ・ 下水道などによる水汚染の促進
- ・ 環境衛生施設の適正管理

生態系を守る  
作る

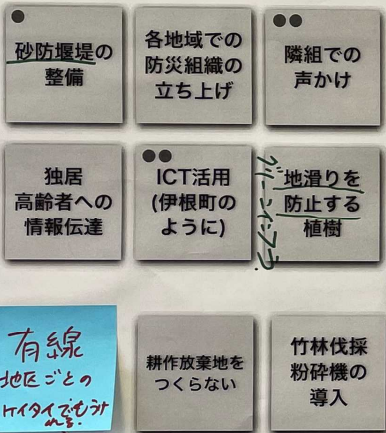
つたいては作る。



## 災害に強い安心・安全なまちづくり

- ・ 山、川、海の整備の更なる促進
- ・ 遊休農地の保全管理
- ・ 防災訓練などによる防災・減災の意識づくり
- ・ 消防・防災力の維持強化
- ・ ライフラインや建物の耐震化の推進
- ・ 総合的な危機管理体制の強化

川から流れた砂



熊いなし  
しかい

51回の防犯訓練  
地域ごとに

## 安心・安全に暮らせる地域づくり

- ・ 安全な交通環境の構築
- ・ 危険空き家対策の推進
- ・ 地域防犯力の向上
- ・ 消費者保護対策の推進
- ・ 有害鳥獣対策の促進



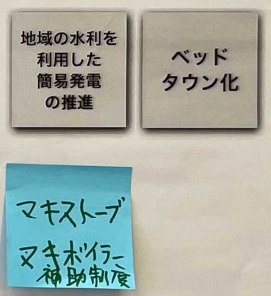
## 誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築

- ・ 世代をこえた交流の促進
- ・ 情報通信環境の充実
- ・ 利用しやすい公共交通の確保

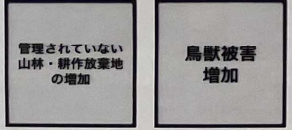


## 資源の有効活用で持続可能なまちの構築

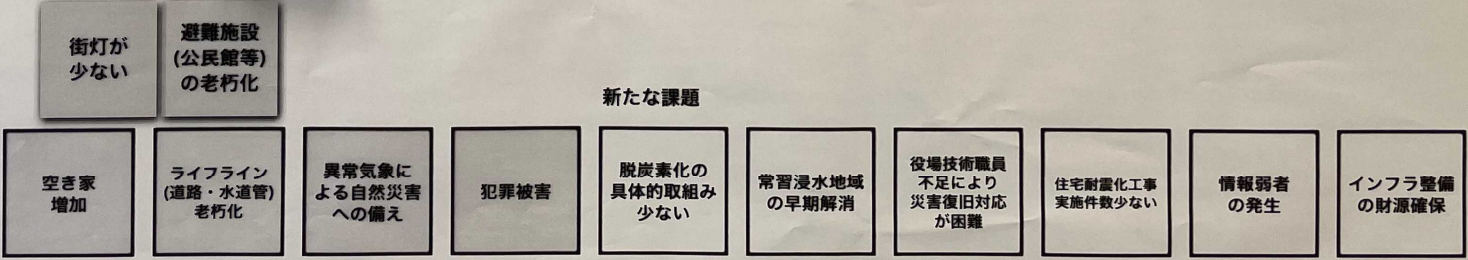
- ・ 適正で合理的な土地利用の推進
- ・ 美しい景観の保全・活用
- ・ 公営住宅の計画的な施設整備及び維持修繕
- ・ 道路や公園など施設の整備及び維持管理
- ・ 上下水道事業の持続可能な経営基盤づくり
- ・ 空き家等活用の推進



### 課題（前期基本計画策定時）



### 新たな課題



分野7

# 住民が主人公となるまち【地域協働と行財政運営】

別国みまを  
と58d  
17(国)

## 地域人材の育成

- ・ 自分事として考え行動する地域人材の育成
- ・ 生涯学習と研修機会の創出

人材育成支援  
制度構築  
(視察旅費等  
補助支援)

個としての  
動きとして  
仕上げてきた。

## 協働のまちづくり

- ・ 協働のまちづくりに関する基本ルールの制定
- ・ 住民による地域自治の推進
- ・ 多様な主体によるまちづくりの推進

地域内のつながり強化

地域内で地域に声を届ける方法(区民の声届ける場)

地域の良さを  
知ることに  
→関わり

現状を把握も

女性議員を増やす

質向上

## みんなが互いに認め合い助け合うまちづくり

- ・ 男女共同参画社会の推進
- ・ 人権意識の啓発

目の行き届きづらい人への支援

アウトリーチ支援強化

## 未来を見据えた行財政運営

- ・ 政策評価を基軸とした自治体経営
- ・ 公共施設の効率的な運営・整備
- ・ 先進テクノロジー活用の検討・推進
- ・ 行政単位を超えた広域連携の検討・推進
- ・ 行政職員の資質・専門性の向上

町内版ふるさと納税制度構築

行政所有の不要財産の処分

売却方法

## 見える、聞こえる、言えるまちづくり

- ・ 情報発信力の向上
- ・ 情報共有化の仕組みづくり
- ・ まちづくりへの参画機会の充実

まちづくりへの関心度を上げる

自治会と町の意見交換機会づくり(町政懇談会ではない)

若者がよく使っているSNSを活用

分かりやすい文章や表現を

課題 (前期基本計画策定時)

まちづくりの主体が行政に偏っている

地域における担い手不足

住民の連帯感の希薄化

コロナ禍の影響大

協働のまちづくりに関する基本ルールの制定

時代に適応した公共サービスのあり方の検討

社会的包摂への理解(男女共同参画・LGBTQ)

まちづくりへの参画機会の確保(若者・子育て世代)

新たな課題

# 重点プロジェクトの検討

班

進化系「よさのみらい会議」

ビル  
HSM

「新しいモノ・コト」  
応援プロジェクト

Uターン  
応援PJ

起業  
応援PJ

「与謝野町のいいね！」  
プロジェクト

おい  
い  
会

自然  
守りPJ

里山  
守りPJ

農林  
守りPJ

自治  
体  
PJ

F&X  
横岸  
プロジェクト  
BtoC. 支援



# 重点プロジェクトの検討

班 \_\_\_\_\_

進化系「よさのみらい会議」

「新しいモノ・コト」  
応援プロジェクト

「与謝野町のいいね！」  
プロジェクト

進捗状況  
確認

同じ方法  
も、お早急

テーマも  
商品開発

与謝野  
町も使った  
メニュー  
期間限定

好きなのは  
これと言わぬ

メディアの  
利活用

KYTの  
視察率向上  
知覚向上

# 重点プロジェクトの検討

## 進化系「よさのみらい会議」

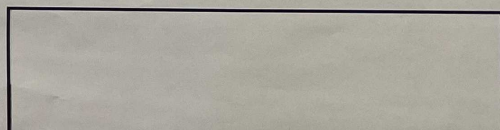
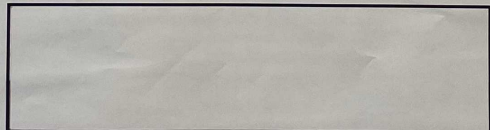
- 指名制  
(~~お~~)  
しほいの人が  
集まらない!!
- 敷居を  
低く
- あてつけ  
版にす  
キ参加型は  
えへはさる
- 分野  
横つながら  
の集りに
- 突撃パシ  
ンゴ訪問
- にてよこ  
で交流

## 「新しいモノ・コト」 応援プロジェクト

- 地域での  
活動団体  
の振り起  
こせ
- 活動の応援  
ニーズを  
きく
- 小さな取  
り組も応援  
⇒活動継続  
できる
- アクションが  
起りやすい  
習得者が多い
- 活動視察  
(使いやすい)  
の調整

## 「与謝野町のいいね！」 プロジェクト

- KYT  
取材
- KYT  
放映
- KYT  
CM放映
- 中高生に  
おろ  
た情報
- 誰でも発  
信プラス  
的な放送



# 重点プロジェクトの検討

班 \_\_\_\_\_

進化系「よさのみらい会議」

先日の  
みらい会議  
良かった

よさの  
みらい  
木

先進事例  
をみる場

刺激  
あり

知る  
ことが出来る

つどわか  
な意見  
をみる場

ホームページ  
のアップ  
した

「新しいモノ・コト」  
応援プロジェクト

はたぶ場  
をつくる

人に教  
えること

人が集  
まる場づくり

大学の  
工房

地域の  
ことを知る

他所を  
知ることで  
この良さが  
分かる

「与謝野町のいいね！」  
プロジェクト

木  
大樹

神社  
仏閣

お墓  
めぐり

おじいさんの  
顔

中高生  
若い人

色んな人が  
発信

一人でも  
グループでも  
発信できる

災害が  
少ない

家庭が  
大事